

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和8年度第1回朝霞市上下水道審議会
開催日時	令和8年5月28日（木） 午前10時00分から午前11時50分まで
開催場所	朝霞市水道庁舎 4階会議室
出席者の職・氏名	委員13人（前田会長、時枝副会長、本田委員、宮林委員、田原委員、柳沢委員、加藤委員、下山委員、大澤委員、佐藤(久)委員、佐藤(美)委員、島崎委員、池田委員） 事務局14人（松下市長、田中上下水道部長、久保田上下水道部次長兼水道施設課長、大塚参事兼上下水道総務課長、松下下水道施設課長、池田下水道施設課主幹兼課長補佐、吉田上下水道総務課長補佐、渡辺水道施設課副主幹兼水道工務係長、菅下水道施設課副主幹兼下水道工務係長、吉田上下水道総務課経営係長、小野下水道施設課下水道管理係長、鶴見下水道施設課下水道工務係主査、牧野上下水道総務課経営係主事、後藤上下水道総務課経営係主事）
欠席者の職・氏名	欠席者 0人
議題	1 上下水道審議会委嘱式 （1）委嘱（代表授与） （2）市長あいさつ 2 議事 （1）正副会長選任 （2）令和8年度上下水道事業のあらまし ①朝霞市審議会の概要 ②水道事業（概要・予算・工事内容） ③下水道事業（概要・予算・工事内容） （3）朝霞市下水道事業経営戦略の一部改定について（報告） （4）朝霞市水道事業基本計画の見直しについて（報告） （5）給水車の譲渡について（報告） （6）その他 ①今後の予定 ②ハザードマップ等について

会議資料	・ 会議次第 ・ 資料 1 朝霞市上下水道審議会の概要 ・ 資料 2 令和 8 年度水道事業の概要・工事内容 ・ 資料 3 令和 8 年度（2026 年度）朝霞市水道事業・下水道事業会計予算概要 ・ 資料 4 本市の水道事業・下水道事業の現状 ・ 資料 5 令和 8 年度下水道事業の概要・工事内容 ・ 資料 6 朝霞市下水道事業経営戦略の一部改定【概要】 ・ 資料 7 朝霞市水道事業基本計画の見直し ・ 朝霞市上下水道審議会条例 ・ 上下水道審議会委員名簿 ・ 席次	
会議録の作成方針	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	☒ 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	☐ 要点記録	
	☐ 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	☒ 会議録の確認後消去 ☐ 会議録の確認後 か月
会議録の確認方法 委員全員による確認		
傍聴者の数	0 人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

開会

上下水道審議会委嘱式

委嘱の代表授与

市長挨拶

上下水道部長挨拶

議題（１）正副会長選任

（田中上下水道部長）
会長選任まで、仮議長を務める。

（池田委員）
会長に前田委員を推薦。

（全体）
異議なし。

（前田会長）
承諾後、挨拶。副会長に時枝委員を推薦。

（全体）
異議なし。

（時枝委員）
承諾後、挨拶。

議題（２）令和８年度上下水道事業のあらまし

- ①朝霞市審議会の概要
- ②水道事業（概要・予算・工事内容）
- ③下水道事業（概要・予算・工事内容）

（吉田上下水道総務課経営係長）
①朝霞市審議会の概要について説明。

（渡辺水道施設課副主幹兼水道工務係長）
②水道事業の概要について説明。

（吉田上下水道総務課経営係長）
②水道事業の予算について説明。

(渡辺水道施設課副主幹兼水道工務係長)

②水道事業の工事内容について説明。

(鶴見下水道施設課下水道工務係主査)

③下水道事業の概要について説明。

(菅下水道施設課副主幹兼下水道工務係長)

③下水道事業の工事内容について説明

(吉田上下水道総務課経営係長)

③下水道事業の予算について説明。

委員から意見・質問

(佐藤(久)委員)

委員を務めて今回で3期目に入るが、最初は全く専門用語が分からず、億単位の数字も想像できないような状況だった。そんな中、最初に事務局で専門用語などを学ぶ勉強会が開かれたので受講したが、今回新しく就任された委員の方もいるので、専門用語が分からない、数字のところで理解できない方を対象とした勉強会を開いてもらえれば、ありがたいし、自分も参加したい。

(大塚参事兼上下水道総務課長)

専門用語など、理解できない部分は多いと思うので、勉強会の開催を検討したい。

(前田会長)

また勉強会の機会を設けてもらえるとのことで、新しく委員になられた方も、継続の委員の方も含めて参加してもらえればと思う。

(佐藤(美)委員)

2点質問があり、1点目は資料2の水道事業耐震化計画について、15年ほど行われている現時点で耐震化率が約63パーセント、あと5年で残り37パーセント進めなければいけないが、これは計画どおりなのか、どこかの工事の遅延が生じているのかを伺いたい。

2点目は、昨今のイラン情勢によるオイルの不足など、資材の不足で工事の計画に何か影響があるのかを伺いたい。

(久保田上下水道部次長兼水道施設課長)

1点目の耐震化率について、水道事業耐震化計画を作成した当初は、耐震化を進めると同時に、漏水が結構あったので老朽管の工事もやらなければいけなかった。距離で表すと半々くらいの割合で進めていた。水道料金の改定を行った令和4年度辺りから、できるだけ耐震化の方を優先して行っており、確かに令和13年度までの計画だとなかなか厳しい状況ではあるが、なるべく長い距離で耐震化を進められるよう努めている。

2点目について、やはりメーカーの方からは、なかなか入手が難しいという話も当初はあったが、現在はいろいろな所から入手できるようになり、少し解

消されている。ただ、今もストックは減ってきており、各自治体からの要求と製造が間に合うかどうかは、まだ不透明である。

（佐藤（美）委員）

もし、計画に対して厳しいところがあるのであれば、努力目標ではなく、現実的な計画を仕切り直すなど検討していただければいいかと思う。

（加藤委員）

私も長年建設業に携わる仕事をしており、水道と下水道の仕組みはある程度分かっていると思うが、予算について伺いたい。

水道と下水道の収益についての説明がそれぞれあり、資本的収支の方で、不足の部分については内部留保資金で補填するとのことだったが、これは今年に限ったことなのか、今後もこのような状況が続くのか。もし続くのであれば、内部留保資金が減っていくと思うが、その辺はどのように対策するのか伺いたい。

（大塚参事兼上下水道総務課長）

収益的収支については、収入は水道でいえば水道料金、支出は維持管理に係る費用などがあり、基本的には黒字になる。そこで黒字になったものを内部留保資金の方へ持っていく。

資本的収支については、収入は企業債や国からの補助金で、支出は施設の工事費用などでかなりお金がかかり、基本的に赤字になり、その赤字を内部留保資金で埋めるとというのが公営企業会計の仕組みになる。

内部留保資金は経営の安定化に図るものなので心配はなく、バランスは取れている。

（田原委員）

市の浸水対策の取組について伺いたい。ゲリラ豪雨などで1時間に50ミリメートルを超え、冠水が発生するたび、市民から不安の声を聴く。仕方のないことではあるが、いかに早く水を流して被害を抑えるのか、市が今、取り組んでいるゲリラ豪雨対策や浸水被害の軽減対策、特に内間木の辺りについて伺いたい。

（松下下水道施設課長）

内間木地域に関しては、浸水被害軽減対策の業務を進めている。その中でも国道254号バイパスについては、県が動いていることもあって、雨水対策の協議も併せて行っており、整備のスケジュールに合わせながら雨水対策も進めているところである。

市内については、朝霞市雨水管理総合計画の中で、例えば膝折町の地域など、重点対策地区を設けて、新たな対策の整備計画を立てているので、雨水の軽減対策には前向きに取り組んでいるところである。

議題（3）朝霞市下水道事業経営戦略の一部改定について（報告）

（吉田上下水道総務課経営係長）

朝霞市下水道事業経営戦略の一部改定について報告。

議題（４）朝霞市水道事業基本計画の見直しについて（報告）

（久保田上下水道部次長兼水道施設課長）
朝霞市水道事業基本計画の見直しについて報告。

委員から意見・質問

（池田委員）

１点目は、６０年間という長い計画なので、把握するのが難しいと思うが、見直しをしていく中で、遊休地については何か考えているのか。

２点目は、県水が値上がった中で、その影響は今後出てくるのか。以上２点について伺いたい。

（久保田上下水道部次長兼水道施設課長）

１点目の遊休地について、浄水場を２か所廃止しているので、その土地をどのように活用していくかの方向性は、まだ決まっていないが、検討はしていかなければいけないと考えている。そのほかにも、浄水場を廃止したことによって、取水をやめた深井戸が５か所あるので、そちらの方は、処分を検討している。

２点目の県水については、値上がりしたので、支出が膨らんでいき、厳しくなっていくとは思いますが、そういったことも踏まえて、水道事業基本計画を見直し、併せて、水道の方の経営戦略も見直し、今後の経営を考えていきたい。

（前田会長）

県水が値上がりしたということで、広報あさかに掲載されていた資料３の給水原価などは、値上がりした後の数字が反映されているのか。

（吉田上下水道総務課経営係長）

値上がりした後の数字が反映されている。

議題（５）給水車の譲渡について（報告）

（久保田上下水道部次長兼水道施設課長）
給水車の譲渡について報告。

委員から意見・質問

（島崎委員）

譲渡された給水車は加圧ポンプが付いているタイプなのか。

（久保田上下水道部次長兼水道施設課長）
付いているタイプである。

（島崎委員）

案外そのようなタイプの給水車を持っていない事業体も所々あるので、非常に良い取組だと思う。

議題（６）その他

- ①今後の予定
- ②ハザードマップ等について

（吉田上下水道総務課長補佐）

- ①今後の予定について説明。

（鶴見下水道施設課下水道工務係主査）

- ②ハザードマップ等について説明。

閉会